

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	救急搬送中、対向車線から交差点内に進入し左折しようとしたところ、救急車の左方から右折してきた原付バイクと衝突しそうになったもの。
3. 体験した事例の中心的要素	交差点内での救急車と原付バイクの衝突事故の可能性。もしくは原付バイクの転倒事故の誘発。
4. 体験した事例の原因・理由	車内で隊長と隊員2名が救急処置中（傷病者嘔吐あり）であったため、運転手は一人でありサイレンの切り替えなども一人で操作していたため、左方から右折してくる原付バイクに気付くのが遅れた。また原付バイクの運転手が救急車に気付いていなかった。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。（指示や助言が聞こえなかった。近くの隊員に気付かなかった等）
------------------	--

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成28年10月17日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：交差点
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	転倒、激突、交通事故
7. 事例体験時の活動	救急現場活動中期
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	搬送中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	数年に1度程度の割合で体験している。

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が踏いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

原付バイクの運転手も救急車に気付いていなかった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

見取り図

